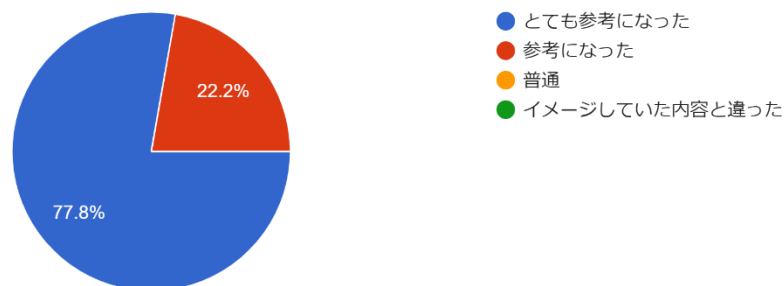


今回のテーマについていかがでしたか。

9 件の回答

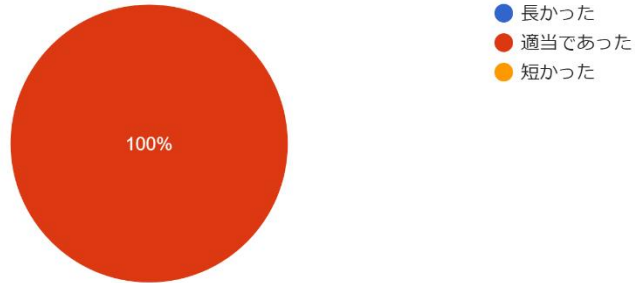


特に参考になった内容は何ですか。9 件の回答

- 他院の教育体制。
- 新人教育の方法について
- 年間計画表の作成や目線モニターの違い
- 井上眼科病院の小杉師長さんのお話や色々な施設の方のお話がそれぞれ勉強になりました。私の所属するクリニックは今のところ新人が入る予定はないのですが、大きな施設の方の苦慮している手術室教育の現状に触れることができ、今後の自分の働き方をも考えさせられる内容でした。とても面白かったです。ありがとうございました。
- ope 中の新人とベテランナースの視線の違いをモニターをつけて解析していたところ
- 小杉先生の発表で、新人指導の際動画をみながら実際の器具を渡す練習をしておられました。とても実践に近く効果的な方法だと思いました。また、管理的な視点からでは当院より少ないスタッフで多くの症例をされているとの事。直介が 1 人でしたが効率的よく介助されていると感じました。人員に限りがある中でマンパワーを適切に分配する事は経営上も必須かと思えます。当院では直介を 1 人にする事はなかなかハードルが高いと思いますが、取り入れられる物は何かないかなと思いました。
- 手術室の様々な体制の違いや、教育方法の違いなどが知れて参考になりました。
- 術中にベテラン看護師と新人看護師で見ている場所が違うというお話が面白かったです。
- 新人教育についての研究結果 参考になりました

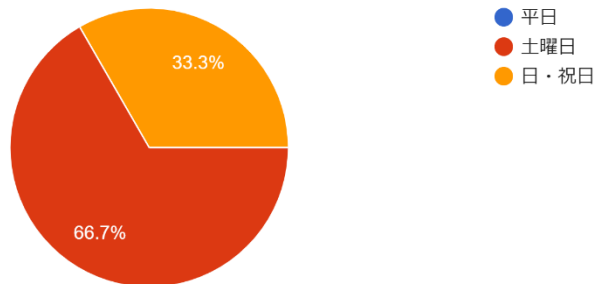
### 時間についてはいかがでしたか

9件の回答



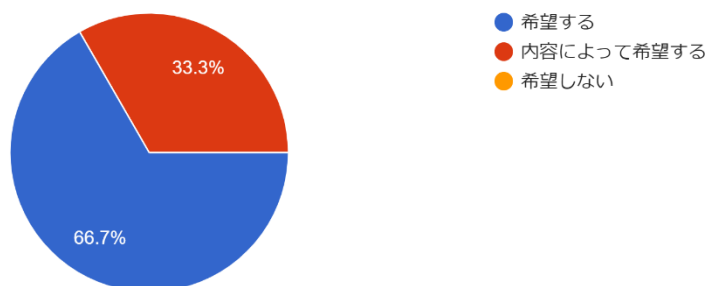
### 日程についての希望があれば教えてください

9件の回答



### 今後も意見交換会（セミナー含む）への参加を希望しますか。

9件の回答



そのほか今回のスタッフ教育に関するテーマについて参考になった点、もっとお聞きしたかった点について今後の企画の参考とさせて頂きたく以下にお願いいたします。9件の回答

● 評価の基準と待遇、について出来る範囲で教えていただきたい。

- なかなか新入職員が入らないということもあり、技術習得の目標設定というところが整備できておりませんでした。今後いつかは入ってくるかと思われますので、整備を進めて行こうと思いましたが、ありがとうございました。
- 他施設の新人教育がどのように行われているか確認できた。初めての参加でなかなか発言しづらくもっとお互いが意見を交換できればよいかと思いました。
- 手術室の教育が丁寧に行われている事を学べて良かったです。特に振り返りをその日のうちにきちんと行っているのは大切だと思いました。また、手術室の仕事のモチベーションを上げる一つの手立てとして、手当が出ている施設もあるとの事が知れて良かったです。
- 他施設の教育を見る事ができると自分の施設を振り返る良い機会となりました。実は皆さんに聞きたい事があったのですが、時間の関係で聞けなかった事があります。当院外のクリニックの医師から相談を受けた事があります。

働き方改革、人手不足、に加え ope ナース経験者が集まらないので、ope の直接介助、外回りをやりたいという ORT にやらせて良いか、また、やる気があれば無資格でもいいと思うがどうか？ と。私は清潔操作を一から教えないといけない事、患者の全身管理ができない事、また、資格のテリトリーを犯すのは後々のトラブルになると話しまして、その医師はテリトリーの事で納得され何とかナースを入れることにしました。私は ope 室のナースの看護をナースではないといけない理由をきちんと説明できなかった事に勉強不足だなあと感じました。皆さんはなぜ、ナースでないと ope の仕事はできないとおもいますか？ という内容です。
- スタッフ教育は教育プログラムやスタッフ配置などの管理的視点と実際指導する際のテクニク的な実践的な方法論が大きな柱になるかなと思います。現場のスタッフは実践的内容に興味があるかなと思います。 当院でも新人さんが器械出しを始めた頃は器械台の管理に精一杯。次に渡す物の事ばかりに集中してしまい、術野が見えず結果手術の流れについていけないという現象が起こっています。そこをどう克服していくかという点の取り組みをきつとなされているのかなと思いますのでお伺いできれば嬉しいです。
- プリセプター制度については、人員も限られていますが取り組めたらと思いました。
- 新人とベテランの違いを考えたときに、テンプレ通りではない出来事に対する対応の違いもありそうだと思います。準備段階からの手術手順の意味と、その手順を間違えたらどのようなことが起こってしまうのかを理解することでテンプレ通りではない出来事に対しても対応できるようになるのではないかと思います。 ・手術室に対しての苦手意識についてですが、医師ごとに準備物品や流れに違いがある、間違えたら患者さんに直接的な影響がある、医師や先輩看護師に注意される、手術中の医師が怖い（集中されている）などが苦手意識の中身だと思います。他にも苦手意識の中身はあるかもしれないのですが、苦手意識はモチベーションに大きく関わると考えられ

ます。そのため、新人さんに苦手意識や躓いている部分について、よく話を聞くことが大切だと感じました。

- スタッフ不足の中で少ない人数で多くのOPを回すためにしている工夫など

今後行って欲しいセミナーや意見交換会のテーマなどがあれば教えてください。例) 視機能看護の専門性を高めるための取り組み、ロービジョンケアについて、手術に対するICについて、地域連携について、認知症患者さんの指導など6件の回答

- 病棟看護師の患者への関わり。 短期間入院時のフォロー、病診連携、福祉などの地域連携の取り組みなど いつも、ありがとうございます。大変勉強になります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。
- ロービジョンケアの情報提供の仕方、地域連携の方法について（当院にはmswを置いていないため、非常に気になっております。）
- 点眼指導、ロービジョンケア、接遇教育はどのようにしているか、リスクマネジメントの取り扱い周知徹底はどのようにしていますか。
- 経験の浅い、小さな施設所属の私からは交換出来るほどの意見が中々出ないので、今日のようなセミナー形式の勉強会が有難いです。今後も企画を楽しみにしております。いつもありがとうございます。
- 今回の「手術室のスタッフ教育」の第二回目があると嬉しいです。
- 患者さんへのロービジョンケア導入のかかわり方について